# てぃんさぐぬ花

本調子

中 合 尺 上 四 合 老 四 工 中 合 尺 上

四 合 老 四 工 中 合 尺 上 四 合 老 四 工

てぃんさぐぬはなや

ちみさちにすみてぃうやぬゆし

中 合 六 〇 七 〇 六 七 中 合 尺 上

ぐとうやちむにすみり

四 合 老 四 工 中 合 尺 上 四 合 老 四 工

中 合 尺 上 四 合 老 四 工 中 合 尺 上

四 合 老 四 工 中 合 尺 上 四 合 老 四 〇

一、てぃんさぐぬ花や爪先（ちみさち）
にすみてぃ
親（うや）ぬ教（ゆ）し事（ぐとぅ
）や肝（ちむ）に染みり

二、天（てぃん）ぬ群星（むりぶし）や
読（ゆ）みば読（ゆ）まりしが
親（うや）ぬ教（ゆ）し事（ぐとぅ
）や読みやならん

三、夜（ゆる）走（は）らす船（ふに）
や　子（に）ぬ方（ふぁ）星（ぶし
）目当て（みあてぃ）
我（わん）産（な）ちぇる親（うや
）や我（わん）どぅ目当て（みあて
ぃ）

四、誠（まくとぅ）する人（ひとぅ）や
後（あとぅ）や何時（いち）までぃ
ん
思事（うむくとぅ）ん叶てぃ千代（
ちゆ）ぬ栄い

五、宝玉やてぃん磨かりば錆びす
朝夕肝（ちむ）みがち浮世（うちゆ
）渡ら

六、なしば何事（なにぐとぅ）んなゆる
事（くとぅ）やしが
なさぬ故（ゆい）からどぅならぬ定
み